



太田道灌公を大河ドラマに！ 推進ニュース

№88号 2024年3月30日 発行
編集・〒259-1103 伊勢原市三ノ宮 362-6 三上利栄
電話&FAX (0463) 95-0807 (電話は17:00以降)

観ボラのホームページ

<https://kankobora.amebaownd.com/>

2026年度の大河ドラマは「豊臣兄弟」 残念!! 取り組みの継続と強化を確認

NHKは、3月12日、2026年度の大河ドラマは「豊臣兄弟」と発表しました。大河ドラマ推進委員会では、11月より義家弘介衆議院議員さんを通じて、2月中旬にNHKとの陳情を予定しておりました。

この発表は「私たちにとってはとても残念なこと」ですが推進委員会では「道灌はNHKの大河ドラマにはふさわしい」との確信に満ち、放映運動は「引き続き継続」してまいります。私たちは、道灌こそ「戦前の修身教科書に掲載」されて「文武両道の鑑」であり、江戸城を構築し、戦国時代の先駆けとして、28年に及ぶ享徳の乱を征し、連戦連勝の武勲、北條早雲とも渡り合い、世界の東京の礎を作り、日本史上に唯一の文武の名将、下剋上の世に「上剋下」の悲業の死等はドラマに最高の舞台・シーンであると思う時、道灌は大河ドラマとして私たち関東地方人口4千500万人の念願・宿願・本願なのです。

推進実行委員会では、太田道灌顕彰会とも密に連絡取りあつて、「署名を上積みし、賛同自治体を広げるなど強化し、何としても実現に」努力する決意です。(三上利栄実行委員長談) 引き続きご協力をお願い致します。



第4回目NHK制作局長に要望書提出
2019/8/21



本会議後傍聴者と議長、副議長と撮影
2023/12/19

伊勢原市議会で決議、大山IC地区内に 「太田道灌像」を作つて新観光の目玉に!

伊勢原市に歴史資料館・博物館を、大山IC地区内に道灌像を作る、推進委員会(伊勢原市内の生涯学習ボラ、観ボラ、甲冑隊などで結成)では「伊勢原に歴史資料館・博物館を作れ」また「大山IC地区内の公園内に太田道灌像をつくれの陳情」を行い、12月議会で採択されました。

陳情書は、伊勢原市は神奈川で古い歴史を持ち史跡があるのに、県下の市の中で構想も計画もないのは伊勢原市だけだと分析。この陳情が署名多数と傍聴者30人の参加の中12月市議会で決議されました。そのあと市長と懇談を持って、署名を市長と会うたびに一次分二次分と提出していますが、2月9日の懇談では、「検討はしている」との発言がありましたが、遅れの市政はすぐ克服してほしいと切に願っています。

太田道灌公538回忌

4月7日伊勢原市洞昌院で今年の大田道灌忌・報恩会は4月7日(日)十一時五十分より伊勢原市洞昌院で開催されます。ご承知のように道灌は1486年7月26日が命日とされていますが今年も猛暑の夏が予想されていますので4月に開催となりました。道灌の末裔、道灌顕彰会、道灌びいきの会、道灌ファン、伊勢原の大河ドラマ推進実行委員会のメンバーなど多数参加予定です。

なお懇親会は午後一時より十五時迄伊勢原市内「料亭小宮」で開催され、538回忌にふさわしく道灌の歴史、道灌とのつながり、大河ドラマへの各地の取り組み等が話題になるものと期待されています。

署名は現在30万2143筆に前進 署名活動の多彩な奮闘の例の数々

*埼玉・越生町の戸口さん、越生町内に13カ所に署名を依頼して、精力的に動いて既に28000筆余を集約しています。

*伊勢原観ボラでは、あらゆる集会、集いに実行委員が参加して署名をお願いして成果を上げています。(いきいきシア祭り、落語会など)

*伊勢原手作り甲冑隊の皆さんは甲冑教室に来る人に呼びかけて署名を増やしています。

*実行委員のYさんは、九州、宮崎、東北の宮城の友人等に呼びかけて署名を集約してくれています。

*伊勢原市内の旧家の奥さんは、訪ねて来る人をお願いして署名をたくさん集約してくれています。

*東京の道灌びいきの会のNさんは、住んでいるところに声をかけまた、出身地にも手紙で訴えて署名を増やしています。

*伊勢原年金者組合の新春の集いで、参加者に署名を呼びかけてくれて参加者全員が署名してくれました。

*市内の私立の中学校では、道灌の講座を持ち、その参加者が署名に協力してくれています。

*いせはら市民大学では3月の修了式を行いました、その修了生に声をかけて署名を広げています。



道灌の集いで30万筆達成
2023/11/23



道灌状講座 尾崎孝先生
2023/3/13



道灌状講座 尾崎孝先生
2023/3/27

署名は上積みをお願いします

NHKへのお願いは、「道灌は大河ドラマにふさわしい」こと、この声を世論にして署名に表しNHKに陳情して実現することにあります。

その際、大事な点はやはり署名です。市、地方自治体の運動、地方議会の決議などですし、有力な著名人の影響も重要です。この力の拡大に全力を尽くすものです。陳情は、署名目標30万筆を達成した勢いをさらに広げてでNHKをお願いします。

尾崎孝先生の「太田道灌状を読み解く」講演 1日目

3月13日(水)午後一時より伊勢原中央公民館会議室Bで30人が参加して「太田道灌状を読み解く」の講演を受けました。講師は、道灌と道灌状の概要を述べたあと、歴史上長く「28年間にわたり戦われた享徳の乱の中心人物が道灌であり、この歴史に光を当てる必要がある」と、また道灌の非業の死の真因にも触れ受講生の関心と興味を高めていました。

「太田道灌状講座」 2日目

3月27日午後伊勢原市中央公民館会議室Aで実施。講師の尾崎孝先生は前回の総論に続いて今回は各論のポイントを講演しました。特に、「太田道灌状」を熱心に学ぶことは称賛に値すると評価。質問の「道灌はどこで産まれたのか」等の質問にも答えてくれました。

2日間の講演で道灌状の真髓と大河ドラマのシナリオの中心点となることを学べた講座となりました。この日は28人の参加者でした。またじっくりと学びたいとの声が聞かれました。

「太田道灌を読み解く」尾崎孝著 案内

道灌の遺言書とか、上申書とか言われる「道灌状」の解説書が発行されています。著者は尾崎孝さん(道灌紀行の著者)発売元 宮帯出版社

1500円です。

私たちは「道灌状」を著者とともに今学んでいます。